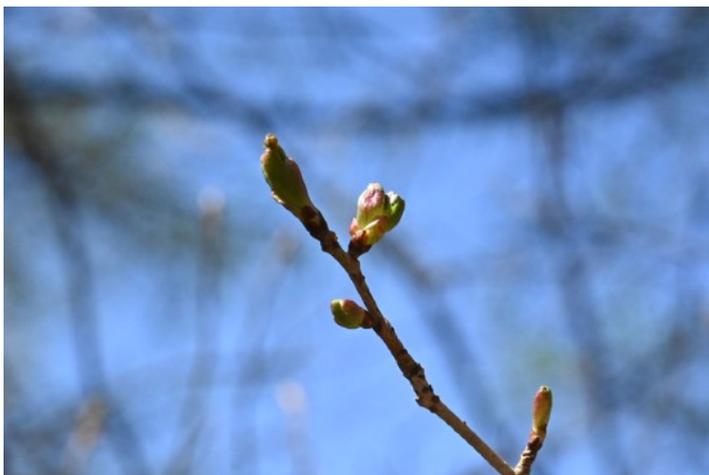
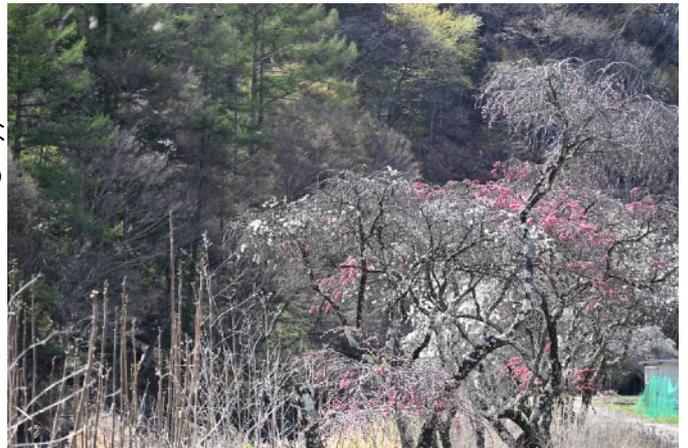


2022ワークキャンプ 2 4/22 23 ホール下駄箱と排水給水調査 キャンプ下見対応

4月22日(金) 快晴

5月連休前の晴天！今回も松田の家を9時前に出て、国道20号線の渋滞を避けて4時間ほどで山荘に到着。途中の「南清里」では谷間に鯉のぼりが泳いでいてとても綺麗でした。(連休まで) 横浜の桜はもう散りましたが、長野県はこれから花の季節、桜はいっぺんに咲きます。少し遅れて滑津川沿いに「花桃」が白や赤の花をつけます。見頃は5月初旬でしょう。食事と買い物(ビバホーム・佐久平店)をして14時ごろに山荘に、4月初旬に清掃したので室内はきれいでした。外気温は10℃、良く晴れていて湿度が低く快適です。ログハウス・ホール・キャビンABの窓を全開して空気の入れ換えを行います。

今回の作業予定は「下駄箱作り」「雨水濾過装置などの部材調達」「水周りの部材確認」そして倉庫隣の東屋の補修(傾いている)です。



山荘の山桜はまだ蕾みが膨らんだところで、開花はGWごろだとおもいます。

16時ごろには薪ストーブを焚いて、読書(自力力を磨く) お金と組織に依存しないで豊かに生きる方法を学びました。22時就寝

4月23日(土) 6時起床 外気温3℃ 室内13℃ 快晴

2日続けて快晴です。朝食はヨーグルトと野菜ジュース。みんなが来る前に一仕事。2年前に伐採した唐松を森の中で乾燥させていたので、玉切りにした丸太を薪置き場に運搬してさらに乾燥させます。積み上げた丸太は30個ほど、リヤカーには6~8個位が限度なので6往復して、汗だくです。秋には薪割りして、来年使えるようになります。皆さん手伝ってください。

9時ごろに尾方さんが到着、「東屋」の補修をすることにしました。山側に傾いているので、ウインチで引っ張り、筋交いを入れて固定しました。次回は不要物を廃棄して材木を置く予定。





次はホール玄関に下駄箱を設置します。残りの材木が少ないので、作業がやりにくいのですが流石尾方さん、しっかりした6段（一番下は長靴用）の下駄箱を設置してくれました。20足ぐらいは入ります。今年の夏はこの下駄箱がいっぱいになると思います。



尾方さんが大自然のひろば看板を作ってきてくれました。とても素敵です。

10時30分頃に東京港5団のBS隊長、BS副長VS隊長と飯盛さん4名が夏キャンプの下見に来ました。キャビン・ホール・ログハウスと野外トイレなどを見学して、キャン

プ場を見ていただきました。環境・広さ・備品類などにも満足して、ロケットストーブは初めて見るそうなので、実際に点火してその構造と便利さに感心していました。昼食後は「薪割り」（薪割り機・ロングアックス・ハンドスプリッター）体験をして、夏キャンプのプログラムに取り入れたいと話していました。5月末にはグリーンパーだけで訓練キャンプを行う予定です。14時ごろに佐久市内のスーパーマーケットなどを確認するために市内へ移動、温泉施設などを見学してして帰宅。



下駄箱作りは15時ごろに終了したので、2人で珈琲を飲みながら、今後の作業について相談しました。ホールは排水設備、トイレが設置されれば寝泊まりできる状態になります。洗面台と台所流しの配水管を確認して、40mmパイプと部品がどれだけ必需か確認しました。現在倉庫にあるパイプと部品で間に合うようなので、5月のワークキャンプで完成しそうです。トイレの便器・便座は購入しなければなりません。



雨水濾過装置もコンテナに開ける穴と設置場所を確認できたので不足している部材を探して購入します。

16時には尾方さんも帰宅、私も松田まで帰ることにしました。次回は連休後になります。

